キャラクター名
皇 撫子（すめらぎ なでしこ）

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	仙人
オプショナル		年齢	12（外見）	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	35 %
出自	疎まれた子	経験	敵性組織	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	0	1	0			1
精神	2	0	0			2
社会	6	0	0			6

HP	24
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
古代種 "エンシェントレネゲイド" LMP66	P	N		
春日恭二	P 執着	N 憐憫		
FH	P 懐旧	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ルーラー 5	3	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	ｼｰﾝ(選択)	自動	Dﾛｲｽ	
効果： R中判定ﾀﾞｲｽ-LV個 LMP116								
CR:ソラリス 3	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	-	
効果： 組み合わせた判定のC値-LV EAP129								
抗いがたき言葉 7	7	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	対決	-	
効果： ｼｰﾝ中判定ﾀﾞｲｽ-LV個 EAP113								
ポイズンフォッグ 5	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	至近	範囲(選択)	-	-	
効果： 範囲･射程変更 EAP116								
盲目の羊 7	1	3	ｵｰﾄ	至近	単体	自動	-	
効果： 判定直前に使用 判定ﾀﾞｲｽ-[LV+1]個 EAP117								
麗しの容貌 1	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 外見が老いない EAP119								
声なき声 1	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	ｼｰﾝ(選択)	自動	-	
効果： 思念を伝える EAP119								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGN支部長として活動しているオーヴァード。
シンドロームはソラリスのピュアブリードで、完全デバフ偏重型。

産まれたときから能力と共にあったが、使い方が分からなかった上にそもそも異能の力を使うという発想がなかったため、病気にかからない健康な子供としてごく一般的な生活を送る。
そんな日々を過ごしていたある日、母が重篤な病を患い入院することとなる。
現代医学では治療が非常に困難であるということを耳にした彼女は、母を助けたい一心で力の行使を決断する。
その結果その病はみるみる完治し事なきを得るが、これを機に彼女を筆頭に身内から気味悪がられるようになり、居場所を失う。
最早今まで通りの生活は送れないことを悟った彼女は、その後隠れて家を出ていき、あてもなく街を徘徊するギリギリの生活を続けていた。
いくら物分かりが良いとはいえ所詮は小学生、あっという間に持ち金もなくなり、路頭に迷って野垂れ死ぬという間際で、偶然FHエージェントである春日恭二に行き逢う。
直感的に彼も自分と同じオーヴァードであるということに気付いた彼女は、彼に喧嘩をふっかけ勝利した後、彼の所属する組織を紹介してもらい、FHエージェントとして力を行使する代わりに生活の保障を受けることとなった。

そんなこんなで（？）自分の所属している組織、並びに自分のしている行為が善なのか悪なのかも理解しないまま異能の力を行使し続けていた彼女だったが、任務内容に対してのやる気もへったくれもなかったため暫くすると飽きてしまい、FHから脱退（逃亡）してしまう。
その後FHに所属中嫌というほど闘わされてきたUGNという組織に興味を持ち、流れでそちらに身を置くことにする。
任務内容は以前と真逆になったがやること自体に殆ど差異はなく、それ自体に関しては相変わらずつまらないと思っているが、FHにいたときより多くの愉快な人間と出会えると感じているため、本人は今の立場をそこそこ気に入っている。
敵性組織に所属していた過去を知る一部のエージェントからは疎まれることも少なくないが、その絶対的な実力で黙らせているというのが現状である。
因みに春日とは今でも腐れ縁のような関係が続いており、しばしば任務中に出くわしてはボコボコにして楽しんでいる。